

受検番号	氏名

令和8年度

神奈川県立中等教育学校入学者決定検査

# 適性検査Ⅱ

(45分)

——— 注 意 ———

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この検査用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は **問4** まであり、1ページから8ページに印刷されています。
- 3 問題と **解答用紙** の **注意事項** をよく読んで、答えはすべて **解答用紙** の決められた欄に書きましょう。解答欄の外に書かれていることは採点しません。マーク欄をぬって答える場合は、選んだ番号の ○ の中をぬりつぶします。
- 4 **解答用紙** には、表と裏の両面に氏名と受検番号を書きましょう。
- 5 字数の指定がある問題は、指定された字数や条件を守り、ていねいな文字で書きましょう。次の〔例〕のように、横書きで、最初のマスから書き始めます。段落をかえたり、マスの間をあけたりしないで書きます。文字や数字は1マスに1字ずつ書き、文の終わりには句点〔。〕を書きます。句読点〔。、〕やかっこなども1字に数え、1マスに1字ずつ書きます。

〔例〕

1	2	月	の	詩	の	テ	ー	マ	は	
、		「	冬	の	朝	」	だ	っ	た	。

- 6 計算などをするときには、**解答用紙** ではなく、この検査用紙のあいているところを使いましょう。
- 7 「やめ」の合図があったら、途中でも書くのをやめ、筆記用具を机の上に置きましょう。

**問1**

かなこさんたちは、図画工作の授業で学習したデザインについて話しています。  
次の【会話文】を読んで、あとの(1)、(2)の各問いに答えましょう。

**【会話文】**

かなこ 「図画工作の授業で、多くの人に伝えるためのデザインがあることを学びましたね。」  
たろう 「非常口を示す【図】などがそうで、ピクトグラムやマークともいうそうです。」  
ひかり 「【資料1】、【資料2】を読んで、ピクトグラムやマークがどのようなものか、理解が深まりました。」  
じろう 「そうですね。また、【資料3】から、日本や世界でのピクトグラムの動向がわかりました。」

**【図】****【資料1】**

(著作権の都合により省略)

(『絵で表す言葉の世界』<sup>むらこしあいさく</sup>村越愛策著より ※一部表記を改めたところがある。)

注1)主観：自分だけの考え方。

注2)<sup>かいしやく</sup>解釈：ここでは、自分なりに考え理解すること。

注3)差異：ちがひ。

注4)しばしば：何度もあること。

注5)言語を異にする人：ここでは、異なる言語を使う人のこと。

**【資料2】**

(著作権の都合により省略)

## (著作権の都合により省略)

(『ドラえもん探究ワールドーこのマーク、なんだかわかる?ー』<sup>ふじこ</sup>藤子プロ・<sup>こやまけいいちかんしゅう</sup>児山啓一監修より

※一部表記を改めたところがある。)

注<sup>とまど</sup>戸惑う：どうしてよいかわからなくなる。

### [資料3]

## (著作権の都合により省略)

(『ユニバーサルデザインとバリアフリーの<sup>ずかん</sup>図鑑』<sup>とくだかつみかんしゅう</sup>徳田克己監修より

※一部表記を改めたところがある。)

(1) [資料1] ~ [資料3] から読み取れる内容として、あてはまるものを次の①~⑤の中からすべて選び、その番号を書きましょう。

- ① ピクトグラムは、「絵文字」や「絵表示」や「図記号」とも呼ばれている。
- ② 文章は、記述する人によって主観が入ったり、表現が異なったりすることはまったくない。
- ③ 日本と外国では、言葉はちがうが、習慣や生活スタイルはどこでも同じである。
- ④ 家の中の身近なものにも、マークやピクトグラムが使われている。
- ⑤ ピクトグラムが日本ではじめて登場したのは、1964年の東京オリンピックのときだといわれている。

(2) ピクトグラムは、何をどのように伝える手段ですか。また、どのような特ちょうがあり、どのようなものを中心に世界共通で使われるようになってきましたか。[資料1] ~ [資料3] の内容をふまえ、全体で80字以上90字以内で書きましょう。

**問2** たろうさんたちは、水とわたしたちの生活について話しています。次の【会話文】を読んで、あとの(1)、(2)の各問いに答えましょう。

【会話文】

たろう 「わたしとひかりさんは、水道料金の改定前と改定後について【料金表】にまとめました。水8m<sup>3</sup>までは基本料金だけで使用でき、水8m<sup>3</sup>を超えた場合は、1m<sup>3</sup>使用するごとに、基本料金にその分の料金を加えます。」

ひかり 「例えば、水15m<sup>3</sup>の場合、基本料金に7m<sup>3</sup>分の料金を加えます。加える料金だけを考えると、改定前の料金ならば、19×7と計算します。」

かなこ 「水25m<sup>3</sup>の場合、改定前の料金ならば1692 + 19×8 + 145×**あ** = **い**と計算するのですね。」

たろう 「そのとおりです。」

じろう 「わたしの家では、改定後の料金で4622円かかっていました。改定前の料金と比べると、**う**円増えているということですね。」

ひかり 「そうですね。ところで、かなこさんとじろうさんは、節水の機能がある4つの機器について調べていましたね。」

かなこ 「はい。節水型トイレ、食器洗い機、ドラム式洗濯機、節水型シャワーについて調べました。2400人を対象に行われたアンケート結果をもとに【グラフ1】、【グラフ2】をつくり、それらからわかることを【メモ】にまとめました。」

たろう 「4つの機器は、それぞれ【グラフ1】のA～Dのうちのどれかですか。」

じろう 「そうです。また、【グラフ2】のE～Hも4つの機器のどれかです。」

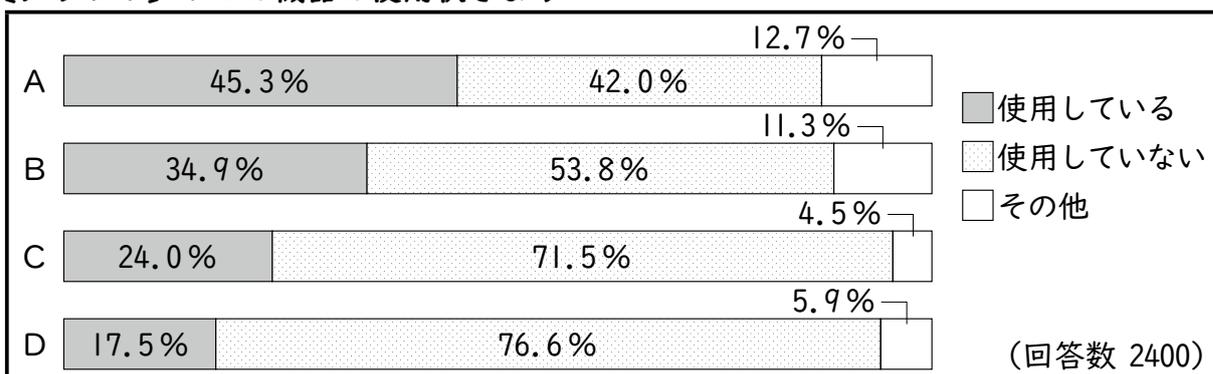
ひかり 「【メモ】から、4つの機器がそれぞれ、どれかわかりますね。」

【料金表】

使用した水の量	基本料金	1m <sup>3</sup> 使用するごとに加える料金		
	～8m <sup>3</sup>	9m <sup>3</sup> ～16m <sup>3</sup>	17m <sup>3</sup> ～30m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ～40m <sup>3</sup>
改定前の料金	1692円	19円	145円	156円
改定後の料金	1736円	20円	149円	160円

(神奈川県ホームページより作成)

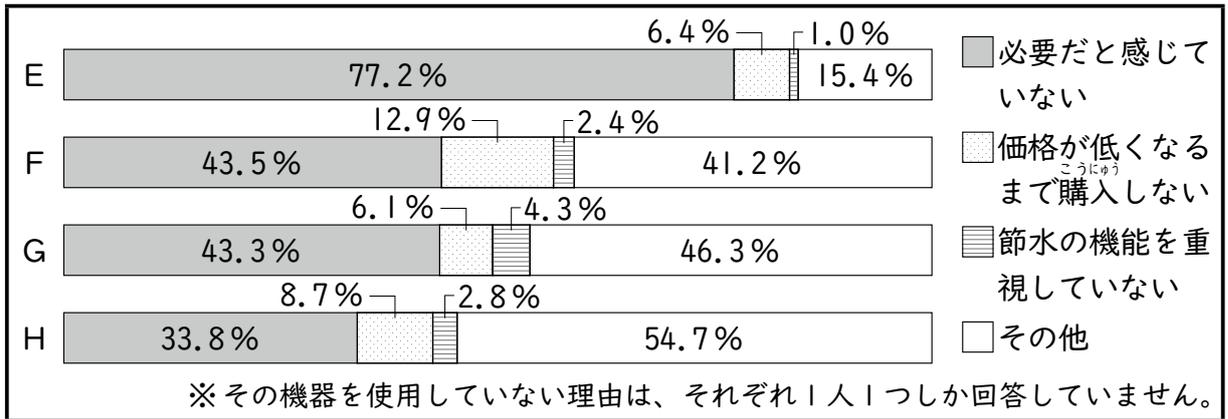
【グラフ1】4つの機器の使用状況



(神奈川県企業庁「令和元年度 神奈川県営水道についてのお客さま意識調査報告書」より作成)

〔グラフ2〕4つの機器の使用状きょうで「使用していない」と回答した人が

その機器を使用していない理由の内訳



(神奈川県企業庁「令和元年度 神奈川県営水道についてのお客さま意識調査報告書」より作成)

〔メモ〕

〔グラフ1〕からわかること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 節水型シャワーは、食器洗い機より「使用している」と回答した人が多い。</li> <li>○ ドラム式洗濯機は、食器洗い機より「使用していない」と回答した人が多い。</li> </ul>
〔グラフ2〕からわかること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「価格が低くなるまで購入しない」と回答した人の割合を比べると、食器洗い機よりドラム式洗濯機の方が大きい。</li> </ul>
〔グラフ1〕と〔グラフ2〕からわかること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 節水型トイレを「使用していない」と回答した人のうち、「必要だと感じていない」と回答した人は400人未満である。</li> <li>○ 節水型シャワーを「使用していない」と回答した人のうち、「節水の機能を重視していない」と回答した人は40人以上である。</li> </ul>

(1) 次のア、イの各問いに答えましょう。

ア 【会話文】の **あ**、**い** のうち、**い** にあてはまる数を、次の①～⑥の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- ① 3004    ② 3149    ③ 3294    ④ 3874    ⑤ 4309    ⑥ 4342

イ 【会話文】の **う** にあてはまる数を、次の①～⑥の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- ① 68    ② 80    ③ 108    ④ 116    ⑤ 124    ⑥ 148

(2) 4つの機器が、それぞれ〔グラフ1〕のA～D、〔グラフ2〕のE～Hのうちのどれかを考えます。このとき、節水型トイレ、食器洗い機、ドラム式洗濯機、節水型シャワーがどれか、A～Dの中から1つ、E～Hの中から1つ選び、それぞれ書きましょう。

**問3**

かなこさんたちは、算数の授業で問題づくりをしています。次の【会話文1】、【会話文2】を読んで、あとの(1)、(2)の各問いに答えましょう。

**【会話文1】**

かなこ 「わたしの問題は、1辺の長さが1cmの立方体を、正方形の面どうしがぴったり重なるようにはり合わせてできる立体が、何種類かを考える問題です。」

たろう 「いくつかの立方体をはり合わせて、1つの立体にするのですね。」

かなこ 「はい。では、3個の場合から考えましょう。できる立体を板の上に置いたときに、置き方を変えると同じになるものは、1種類と数えます。」

ひかり 「置き方を変えると同じになるものとは、どのようなものですか。」

かなこ 「例えば、3個の場合は、【例1】の  で囲んだものなどです。これらはまとめて1種類と数えてください。」

じろう 「そうすると、3個の場合は、できる立体は2種類ですか。」

たろう 「そうですね。そして、4個の場合は、**あ**種類ですね。」

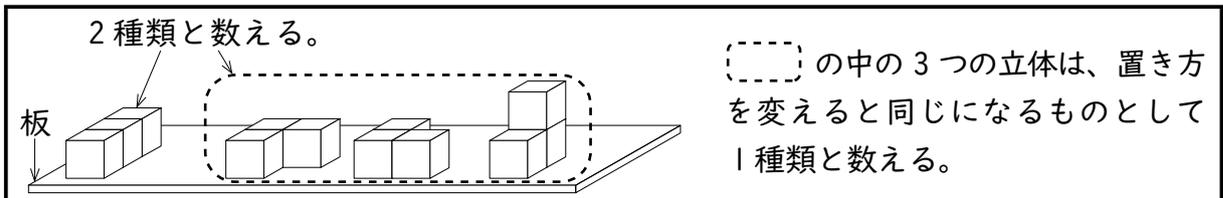
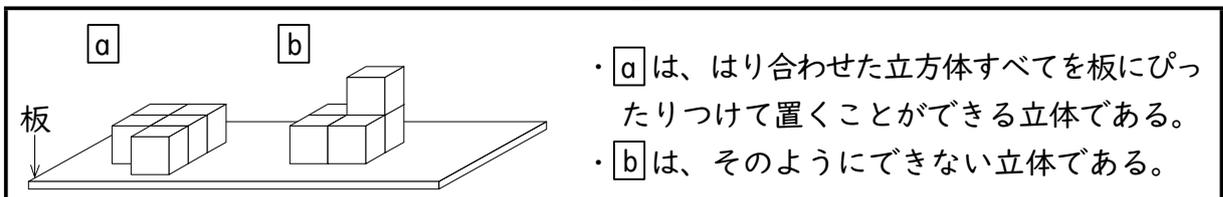
かなこ 「そのとおりです。次に、5個の場合を考えましょう。」

じろう 「5個の場合は、種類が多そうですね。」

かなこ 「それでは、【例2】の  のように、はり合わせた立方体すべてを板にぴったりつけて置くことができる立体だけに限定して考えてください。」

ひかり 「そうすると、【例2】の  を含めて、**い**種類です。」

かなこ 「そのとおりです。」

**【例1】 3個の立方体をはり合わせてできる立体の例と、種類の数え方****【例2】 立方体すべてを板にぴったりつけて置くことができる例と、できない例****【会話文2】**

たろう 「わたしの問題は、【図】のA、Bの立方体やCの三角柱を、正方形の面どうしがぴったり重なるようにはり合わせてできる立体が、何種類かを考える問題です。」

ひかり 「この問題も、できる立体を板の上に置いたときに、置き方を変えると同じになるものは、1種類と数えるのですか。」

たろう 「はい。【例1】のように考えます。また、【例2】の□aのような立体だけに限定はしません。ただし、わたしの問題では、立方体の色がちがうことで、ちがう種類として数える立体ができます。」

じろう 「例えば、どのようなものですか。」

たろう 「【例3】の□1と□2のような立体です。これらはちがう種類として2種類と数えてください。一方で、□1と□3は同じになるものとして1種類と数えます。」

じろう 「つまり、AとBの色のちがいにも気をつけて考えるのですね。」

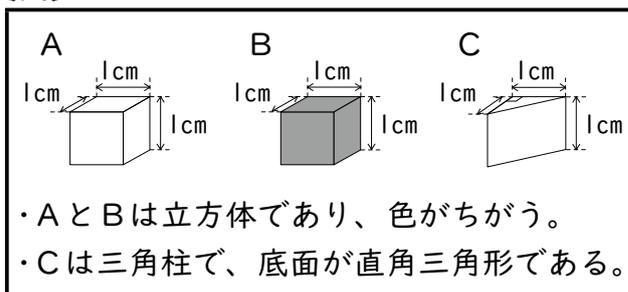
たろう 「そのとおりです。では、A 2個、B 1個、C 1個をはり合わせる場合は、何種類ですか。ただし、Cには必ず2個の立方体をはり合わせてください。」

ひかり 「Cには正方形ではない面があるので、その面には立方体をはり合わせないよう注意しないとイケませんね。」

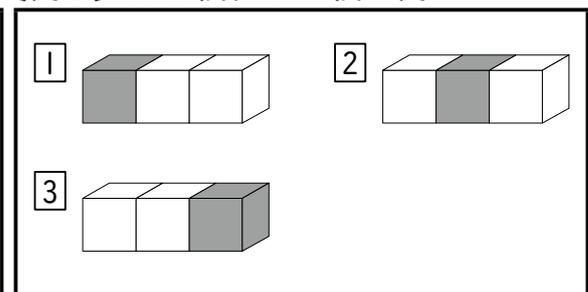
かなこ 「そうすると、□う種類ですね。」

たろう 「そのとおりです。」

【図】



【例3】 A 2個、B 1個の例



(1) 次のア、イの各問いに答えましょう。

ア 【会話文1】の□あにあてはまる数を、次の①～⑧の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- ① 4    ② 5    ③ 6    ④ 7    ⑤ 8    ⑥ 9    ⑦ 10    ⑧ 11

イ 【会話文1】の□いにあてはまる数を、次の①～⑧の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- ① 7    ② 8    ③ 9    ④ 10    ⑤ 11    ⑥ 12    ⑦ 13    ⑧ 14

(2) 【会話文2】の□うにあてはまる数を、次の①～⑧の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

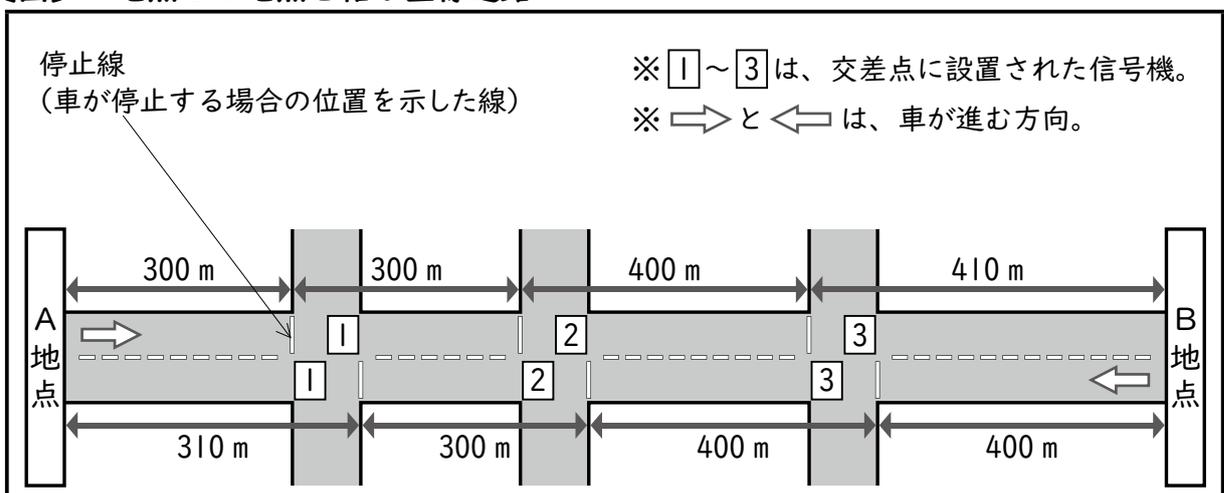
- ① 11    ② 12    ③ 13    ④ 14    ⑤ 15    ⑥ 16    ⑦ 17    ⑧ 18

**問4**

たろうさんたちは、信号機の青の時間について話しています。次の【会話文】を読んで、あとの(1)～(3)の各問いに答えましょう。

**【会話文】**

- たろう 「【図】を使って、【3つの要素】で決まる信号機の青の時間について考えましょう。」
- かなこ 「はい。では、【図】の直線道路にある信号機①～③で確かめましょう。」
- たろう 「例えば【設定】の場合、信号機①～③は、1サイクル60秒、スプリット50%なので、青の時間はそれぞれ30秒となります。」
- じろう 「信号機①は8時0分0秒に青に変わりますが、その時刻から30秒後の8時0分30秒は、青ですか。それとも、ちがう色ですか。」
- かなこ 「8時0分30秒は、青と考えます。また、再び信号機①が青に変わる30秒後の8時1分0秒も、青と考えてください。」
- ひかり 「なるほど。青に変わる時刻と、その30秒後の時刻は青と考えるのですね。」
- たろう 「はい。どの信号機も、そのように考えます。次に、オフセットのことで、青に変わるタイミングがどのようにずれるかわかりますか。」
- じろう 「3秒ずつ、①、②、③の順にずれるので、8時0分0秒に信号機①が青に変わると、3秒後の8時0分3秒に信号機②が青に変わり、その3秒後の8時0分6秒に信号機③が青に変わるということですね。」
- かなこ 「そのとおりです。」
- ひかり 「この【設定】の場合、車はどのように進むことができるのでしょうか。」
- たろう 「それでは、車が【条件】に従って【図】の直線道路を、どのように進むことができるか考えてみましょう。」
- じろう 「考えるときは、車が停止線で停止するまで、常に時速36kmで進むものとしてよいですか。」
- かなこ 「はい。車が動き出すときも、同じように考えます。つまり、車が進むときは、常に1秒あたり10m進むものとして計算してください。」

**【図】 A地点とB地点を結ぶ直線道路**

### [ 3つの要素 ]

1 サイクル [秒] : 信号機が青、黄、赤と順に変わり、再び青になるまでの時間。  
スプリット [%] : 1 サイクルの時間を100 %として、その中で青の時間がどれだけかを百分率で表したもの。  
オフセット [秒] : となり合う交差点に設置された信号機で、青に変わるタイミングがどれだけずれるかを表した時間。

### [設定]

- ・ 信号機①は8時0分0秒に青に変わる。
- ・ 信号機①～③は、1 サイクル60秒、スプリット50 %。
- ・ 信号機①と信号機②、信号機②と信号機③は、どちらもオフセット3秒で、①、②、③の順にずれる。

### [条件]

- ・ 車が進むときの速さは時速36 kmとし、信号機以外の理由では停止しない。
- ・ 車が停止線に達する時刻に、信号機が青であれば必ずそのまま交差点を通過し、青でなければ必ず停止線で停止する。

(1) 8時0分0秒にA地点を出発した車が、B地点に着く時刻は8時2分何秒か、次の①～⑧の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- ① 8時2分21秒    ② 8時2分27秒    ③ 8時2分31秒    ④ 8時2分34秒  
⑤ 8時2分38秒    ⑥ 8時2分41秒    ⑦ 8時2分47秒    ⑧ 8時2分52秒

(2) B地点を出発した車が、A地点に着くまでにかかる最も短い時間は何秒か、次の①～⑧の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- ① 141秒                      ② 146秒                      ③ 150秒                      ④ 155秒  
⑤ 161秒                      ⑥ 166秒                      ⑦ 170秒                      ⑧ 175秒

(3) [設定]の中で、信号機②と信号機③のオフセットだけを変えて、7時59分30秒にA地点を出発した車が、1度も停止することなくB地点に着き、8時0分10秒にB地点を出発した別の車も、1度も停止することなくA地点に着くことができるようにするためには、オフセットを何秒にすればよいかを考えます。このとき、考えられる中で最も短いオフセットは何秒か、次の①～⑨の中から1つ選び、その番号を答えましょう。ただし、オフセットは0秒～59秒の間で、1秒きざみで考えるものとします。

- ① 7秒                      ② 10秒                      ③ 17秒                      ④ 20秒  
⑤ 27秒                      ⑥ 30秒                      ⑦ 37秒                      ⑧ 40秒  
⑨ 47秒

※問題は、これで終わりです。

このページには、問題は印刷されていません。

このページには、問題は印刷されていません。

